

第85回 全日本男子ホッケー選手権大会

開催日時 12 月 9 日 (金) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合 9:30	天理大学	4	$\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	3	福井クラブ
第2試合 11:10	名古屋フラーテルホッケーチーム	12	$\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 7 - 0 \end{pmatrix}$	0	慶應義塾大学
第3試合 13:10	小矢部RED OX	3	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 2 - 4 \end{pmatrix}$	5	立命館大学
第4試合 14:50	山梨学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	2	RIVERSOUL岐阜

【各試合の結果・詳細】
Aコート 第1試合

天理大学 4 $\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$ 3 福井クラブ

<得点>

天理 : 10分#15吉原 51分#3下市 58分#6三谷 66分#14膳棚
福井クラブ : 7分#5水島 35分#2為国 68分#2為国

<戦評>

福井クラブのセンターパスで試合が開始された。福井クラブは7分#5水島PCのリバウンドを決め先制する。天理は10分#11小澤のセンタリングを#15吉原が決め同点とする。その後は一進一退の攻防が続く、前半が終了すると思われたが、35分福井クラブがPCを取得。#2為国がフリックシュートを決め1-2で前半を終えた。後半は天理が押し気味にゲームを進め51分#3下市がPCから豪快なヒットシュートを決め同点とする。58分#6三谷がリバースシュートを決め逆転した。66分#14膳棚がPCからフリックシュートを決めリードを広げる。福井クラブも68分にPCから#2為国がフリックシュートを決め1点を返す、その後チャンスをものにすることができず4-3で天理が逃げ切った。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	大橋 康夫		成田 健一
サジェスチョン	鈴木 茂明 平尾 豊		

Aコート 第2試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 12 $\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 7 - 0 \end{pmatrix}$ 0 慶応義塾大学

<得点>

名古屋フラーテル : 1分#4小野 26分#2三澤 28分#11川上 33分#5渡邊 34分#17橋 39分#12坪内
47分#13山下 49分#14長澤 60分#17橋 60分#5渡邊 66分#14長澤 70分#13山下

慶応義塾 :

<戦評>

慶応大学のセンターパスで試合が開始された。開始1分、名古屋フラーテルは#12坪内のセンタリングを#4小野が決め先制する。名古屋フラーテルの猛攻撃に対し慶応大学は堅い守備を見せる。26分にPCから#2三澤がフリックシュートを決める。その後28分に#17橋のパスを#11川上啓がシュート。33分#5渡邊がリバウンドを決め、34分には#18福代がサイドからドリブルで持ち込み#17橋が決めて5点目を挙げ大量リードで前半を終えた。後半に入っても名古屋フラーテルのゴールラッシュは続く、39分カウンターから#4小野のパスを#12坪内が得点。47分#13山下が巧みなドリブルからシュートを決め7点目。49分PCから#14長澤が鋭いフリックシュートを決る。60分PSを#17橋が得点、同じく60分に#5渡邊がヒットシュートを決め10点目を挙げた。勢いに乗る名古屋フラーテルはその後66分PCから#14長澤がフリックシュートを決める。終了間際にも#13山下が決め12-0で名古屋フラーテルが圧勝した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	下島 多美子		押田 幸二
サジェスチョン	宮川 敏充 千野 雅人		

Aコート 第3試合

小矢部RED OX 3 $\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 2 - 4 \end{pmatrix}$ 5 立命館大学

<得点>

小矢部 : 34分#12高橋 36分#12高橋 66分#5高嶋
立命館 : 24分#9藤吉 39分#8金子 42分#18森 47分#9藤吉 57分#18森

<戦評>

立命館大学のセンターパスで試合が開始された。立ち上がりから、激しい攻防が続く。10分小矢部はPCを取得。立命の堅い守りに得点することができない。対する立命 24分#9藤吉がシュートを決め先制する。追いつきたい小矢部は34分カウンターから#14早田のパスを#12高橋が決め同点とし前半を折り返した。

後半開始直後36分小矢部#12高橋がリバースシュートを決め2点目を取得、リードする。39分立命#8金子がシュートを決め、再び同点とする。さらに42分立命#18森がリバウンドを確実に決め、逆転する。リズムをつかんだ立命は47分#9藤吉がドリブルで持ち込みシュート、57分立命#18森がPCからフリックシュートを決めリードを広げる。粘りを見せる小矢部は66分#5高嶋が得点、そのまま立命が逃げ切り3-5で勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	藤村 利道
ジャッジ	大橋 俊彦		鈴木 茂明
サジェスチョン	成田 健一		
	平尾 豊		

Aコート 第4試合

山梨学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$ 2 RIVERSOUL岐阜

<得点>

山梨学院 :
岐阜 : 23分#12光田 50分#7内山

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスで試合が開始された。前半23分RS岐阜はPSのチャンスを取得。これを#12光田が冷静に決め先制する。対する山梨は前半終了間際にPCのチャンスを得るが決めることができない。岐阜のリードで前半を終える。

後半に入ってもやや岐阜が優位にゲームを展開する。50分岐阜がPCのチャンスを取得。#7内山がタッチシュートを決め、待望の追加点を挙げる。54分、56分と山梨はPCのチャンスを得るも、岐阜の堅い守備により決めることができない。その後、両者一進一退の攻防が続くが、山梨の攻撃を岐阜GK#1岡部がファインセーブで止め、0-2で岐阜が勝利した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	下島 多美子		小原 直也
サジェスチョン	押田 幸二		
	千野 雅人		

明日の組み合わせ (Aコート)

第1試合	天理大学	(-)	立命館大学
9:30		(-)	
第2試合	名古屋フラーテルホッケーチーム	(-)	RIVERSOUL岐阜
11:10		(-)	
第3試合	小矢部RED OX	(-)	福井クラブ
13:10		(-)	
第4試合	山梨学院大学	(-)	慶応義塾大学
14:50		(-)	